



# YDP Japan Network

## YDP Japan Network

### 交流フェスタ

2007年12月15日 (Sat.)



## FTSN (Fair Trade Student Network)

FTSN (Fair Trade Student Network) は、学生を中心として、フェアトレードを知りたい、広めたいという人たちがお互いにつながり、活動を応援しあうためのネットワークです。

私たちは、フェアトレードを、途上国の貧困問題や環境問題を乗り越えるひとつの手段として、また人々がこれらの問題の根本にある社会・経済構造そのものに目を向けるひとつのきっかけとして、位置づけ、日本におけるフェアトレードの普及を目指しています。

現在、関東、関西、中国、九州と4つの地域内でのネットワークを活動の拠点とし、その地域の拠点をつなぐ広域的なネットワークである FTSN ジャパンを形成しています。

### FTSN の活動

#### ◆フェアトレード普及のためのイベントやキャンペーンの開催

ファッションショーやシンポジウム、キャンペーンを通して、フェアトレードを広めていきます。

#### ◆フェアトレードに関する情報の蓄積・共有・発信

フェアトレードに関する情報の蓄積、ML などによる情報の共有、メルマガなどによる情報の発信などをおこなっていきます。

#### ◆勉強会

フェアとは？顔の見える関係って？フェアトレードを発信するためにも自らフェアトレードを勉強し、フェアトレードが必要とされる背景について知識を深めていきます。

#### ◆フェアトレード学生サミット

年一回の全国合宿、各支部で定期的な合宿を行っています。

---

### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

本年度の活動の中で最も大きいのが、去る9月に行った「第5回フェアトレード学生サミット」の開催です。フェアトレードに関心のある学生が全国から一同に集まる年に一度の大イベント！合宿の中では講演会やディスカッション、ワークショップなど様々な企画があります。この合宿をきっかけに多くの学生が出会い、新しい取り組みが生まれています。今年は、フェアトレードコーヒーのレギュラーメニュー化のための署名運動を全国で行う企画など含め、合計8つのアクションプランが挙がり実際に動いています。

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

これからは、学生の運動として企業に働きかけるものも含め、全国のネットワークいかして社会に対して発信していくような活動をしていきたいです。フェアトレード学生サミットで挙がってきたアクションプランをすすめていくことを頑張っていきたいと思います。

### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

流行っているということではないですが、10月から各支部毎に月一活動報告をMLに流すようになりました。それによって、1つの地域にとどまらず様々な地域の情報を共有できるようになったと思います。また、遠く離れた支部での活動や新たなメンバーについても共有しているので、ネットワークとしてとても充実した情報共有ができるようになりました！

## INpact

INpact は、北海道の社会的な学生団体のネットワークを作る学生団体です。

「学生の視野を広げる。活動を活性化させる。そして北海道を活性化させる。」ことを目的に活動しています。

たくさんの学生に学生団体の存在を知ってもらって、認知度をあげ、活動しやすいフィールドを作りつつ、団体同士のネットワークを作って、情報やノウハウの共有をしながら、活動を盛り上げよう！ということで、北海道の学生団体を巻き込んで、いろいろな活動をしています。目指すネットワークの形はこのような感じです。

主な活動内容は

- ・サークル情報冊子『INpact』の制作
- ・サークル合同説明会等のイベントの企画・運営
- ・メーリングリストの運営(学生団体のイベント情報やスタッフ募集告知などをするため)
- ・情報交換用の掲示板の管理

などです。

HP アドレス : <http://inpact2007.hp.infoseek.co.jp>

北海道の学生団体のリンクもあります☆

---

### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

4月：INpact 登録団体による合同説明会

7月：サークル交流の料理教室

8月：高校生向けの合同説明会 in 北海道大学

10月：秋のサークル合同説明会

12月：大忘年会

10月～3月：2008年度版『INpact』の制作、協賛活動

年間を通して：メーリングリストの運営、広報冊子 INpact の配布

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

年度内は2008年度版の『INpact』の作成が主になります。

来年もまた、サークルと合同の交流会や説明会を中心に、いろいろな講演会や勉強会などもしていきたいなと思っています。

詳細はこれから決まるという感じです！

### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

これといったのはないですね…(笑)

他団体のミーティングに参加するようにしています！



私たちPOSSIは、毎年1回～2回、カンボジアへ行きます。そこで感じてきた私たちの想いや経験、取材内容などをもとに、日本で「中学生に対するディスカッション形式の授業」「カンボジア写真展」「映像放映」「ワークショップ」を実施しています。一見全く違った内容ですが、これには一貫したものがあります。それは、「キッカケを創る」ということです。私たちと関わるすべての人に対して、「考えるキッカケ」「想いを伝えるキッカケ」「行動するキッカケ」、様々なキッカケを着つくり、私たちと関わる全ての人の可能性を広げるために、POSSIは活動しています。

POSSIは4年目の学生団体で、武蔵大学・東京大学・明治学院大学の学生約12人で活動しています。決まった価値観にとらわれず、様々な視点で取り組んでいくことで、社会と関わっていききたいと思いつながりながら活動を続けています。

1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

4月：代官山にて写真展

6月：学生を対象にしたワークショップの開催

7月：山梨日立建機取材（地雷除去活動について）

8月～9月：カンボジア訪問（取材・ワークショップ実施）（期間は1ヵ月）

10月：さいたま市立内谷中学校にてディスカッション形式の授業の実施

11月：武蔵大学の学祭にて写真展開催

代官山にて写真展開催

2. 今後の活動予定を教えてください。

今後も、カンボジアをツールとして、日本の若者に対して想いを発信していきたいと思つています。具体的には以下の通りです。

2月：さいたま市立上大久保中学校にて授業

3月：鷲宮市立東中学校にて授業

カンボジア訪問

4月：フレンドリーライブのイベント企画・運営・実施

代官山にて写真展実施

これ以降も、中学生に対する授業、映像放映会、写真展、ワークショップなどを実施していきます。また、8月ごろにはカンボジア訪問も計画中です。

3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

3年生が多いので、就活ムードが漂っています！

## **SAGE**

SAGE は、環境から国際協力を考える、京都の学生団体です。

約 10 人ほどで、一方的に伝えるだけではない、地に足の着いた双方向性の啓発イベントを開催する活動をしています。

---

1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

今年度は、様々な勉強会を行いつつ、今後の活動の方針を決める話し合いを重ねていました。

2. 今後の活動予定を教えてください。

2009 年 3 月の世界水フォーラムに向けて、また、国際衛生年である 2008 年を通して、水に関するさまざまな問題に関して学び、啓発イベントを開いていく予定です。

3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

忘年会に向けて、ものまねがはやっています。



## SPUTNIK International JAPAN Students (sts)

私たちは NGO、SPUTNIK International Japan (以下 SIJ) の学生部です。SPUTNIK International Japan は**国際教育・国際交流・国際協力**の3本柱で活動しています。私たち SPUTNIK International Japan students (以下 sts) は、SIJ の活動に共感する学生の集まりです。現在は**スリランカ・ガーナ**への支援を目的として活動しています。

### 活動理念 「世界に通じる心を持つ」

世界には様々な文化・価値観があり、グローバル化が進む今日は、様々な文化・価値観を理解し、尊重して生きていく必要性が高まっています。私たちは、様々な文化・価値観を理解、尊重できる心、つまり、「世界に通じる心」を持つきっかけを、国際交流を通じて、たくさんの学生に与えることを活動理念としています。



SPUTNIK International Japan HP

<http://www.sputnik-international.jp/>

#### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

春休みに4名程度の学生でスリランカへの**スタディーツアー**を行いました。また、5月には代々木公園で行われたスリランカフェスティバルと10月に行われたグローバルフェスタにおいてスリランカの物品販売と紹介活動を行ってきました。

6月には**ピースクエスト**という SPUTNIK 主催コンサート活動を行いました。

#### 2. 今後の活動予定を教えてください。

今後の活動としては、直近ですが12月26日にピースクエストが行われます。また、今後はスタディーツアーの計画や国内でのイベント活動、新入生の勧誘などを軸にして行動していきたいと思っています。

#### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

1年ほど前から、シンハラ語で「プルワン」という言葉が流行っています。これは、「やれば出来る」という意味で、イベント等で大変な時はこれを使って元気を出しています。

## トゥナペンダアフリカ

トゥナペンダアフリカ学習会は、2002年にケニアを訪れた創設メンバーが「この体験をそのまま終わらせてしまうのではなく、もっとアフリカのことを学び、アフリカについて考える場を作りたい」と思ったことから始まりました。「自分たちが会を始めることによってアフリカに触れる場所が一箇所でも増えたら、一人でも多くの人がアフリカを知るきっかけになるかもしれない」、会を通じて、アフリカがもっと身近なものになり、「私たちはアフリカから多くのことが学べるんだ」と思える仲間を増やしたいという気持ちが創設の動機となっています。

具体的な活動は月1回ペースに、講師を呼んでの講演会もしくは勉強会、ディスカッションを行います。トゥナペンダの特徴としては、

- 1.アフリカに関心を持つ学生が主体となった運営
- 2.学生による自己満足に終わらず、現地で活動する方、研究者等、経験豊富な方の問題意識から学ぶ
- 3.スタディ・ツアー、学習会、イベントを中心としたアフリカに関わる幅広いきっかけ作り
- 4.アフリカにより深く関わっていこうと思う人、新しく関心や関わるきっかけが欲しいと思う人の双方の受け皿を担える運営

が挙げられます。まだまだ新しい団体なので、臨機応変な対応で運営メンバーが納得のいく団体を作っていこうと考えています。

---

### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

○定例の学習会を行いました。今年度の講師とテーマは以下のとおりです。

4月：織本知英子氏「カンガ・マジック～東アフリカを主張する布 カンガを楽しむ」

6月：石井恒夫氏「“嘘から出たまこと”のアフリカンレストラン??ローズドサハラ!!!」

9月：桜木奈央子氏「Color of Life ～戦争を生きるウガンダ北部の人びと～」

10月：テンパ・テラー氏、向山恵理子氏「ケニアの活動家テンパ・テラーのスラム革命」

学習会の講師はトゥナペンダの活動方針に沿って、様々な方面で活躍する方々をお呼びしました。毎回、学習会を作っていくためにトゥナペンダメンバーと講師との事前打合せを行います。講師と作り上げる学習会は、1人の人間（日本人）として「アフリカ」にどのように本気で関わってきたかについて伝わる場を目標にしています。これは、「アフリカ」から学ぶというトゥナペンダの姿勢であり、講師その人自身に参加者が関心を持ち、学ぶことができる場を創出したいという意図からです。この姿勢は今後もずっと継続していきたいと思います。

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

○定例の学習会を企画・運営していきます。さらに多彩な講師の方々をお呼びして、参加者と共に「アフリカ」から学ぶ場を作り続けていきます。

**動** ～フィールドワーク～

物事というのは実際に見てみないと分からないことがたくさんあります。そこでWACCAでは道内にある水辺、森、ダムなどを訪れ、講師を招いてのフィールドワーク（現場で学ぶこと）を行い、考えるだけでなく実際に動くことを大事にしています。

【これまでの活動実績】

- ・千歳さけふるさと館
- ・八雲町でのサケの遡上見学
- ・北大の苫小牧演習林
- ・ウトナイ湖見学 etc



↑サケの遡上見学  
八雲町で写真家の種田さんに案内してもらった。



↑苫小牧演習林  
北大の先生に演習林を案内してもらった。

**考** ～勉強会、議論～

WACCAではメンバー自らがそれぞれ興味のある水環境に関する問題や事柄を勉強会で発表し合い、また議論することで様々な視点から水について学び考えています。

↑勉強会の一場面



←熱い議論

【これまで扱ったもの】

- ・大沼の水問題
- ・ウォータービジネス
- ・マリモの減少
- ・カエルと水
- ・土壌と水
- ・サケの魚道
- ・食と水 etc

**結** ～ネットワーク～

WACCAという名には、人と人を“わっか”のようにつなげていきたいという思いもこめられています。そこで様々な団体やスポンジストとの関わりを持ち人切にすることで、フォーラムやフィールドワークなどの貴重な体験を可能にしています。

【ネットワーク】

- ・東京の水環境団体TOMY
- ・NPO法人Waterscape
- ・ネットワーク団体Impact
- ・環境教育のプロ 奇田勝彦さん
- ・写真家 種田一俊さん etc

【参加企画】

- ・打ち水大作戦
- ・愛知万博での水フォーラム
- ・第4回世界ユース水フォーラムinメキシコ
- ・日中ユース水フォーラムin札幌の企画 (TDP JAPAN 2006ベストプラクティス アワード優秀賞を受賞！) etc



↑世界水フォーラム



↑日中水フォーラム

1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

本年度の一番大きな活動としては、G8サミットに向けての学生のイベントの皮切りとなる「北海道ユース環境フォーラム～きっかけは水～」を実施しました。このフォーラムでは北海道各地から31名のユースが参加し、洞爺湖でのフィールドワークや環境問題についてのワークショップを行いました。このフォーラム後の取り組みとして、フォーラム参加者が中心にアイスキャンドル実施に向けて現在精力的に活動中です。

また、毎回のミーティングでの勉強会や北海道のフィールドを活かしたフィールドワークを毎月一回程度行いました。

2. 今後の活動予定を教えてください。

現在、次の取り組みに向けて話し合いを重ねているところですが、勉強会やフィールドワークは定期的の実施していくつもりです。

3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

「アイスじゃん」  
⇒みんなでじゃんけんをして負けた最後の一人がみんなの分のアイスを買うという恐ろしいゲーム。アイス以外のものも買ってもらえる「一品じゃん」や女の子の味方「男のぐー」など応用編や隠しルールもあり、なかなか奥が深い。



環境協働

NGO

YouthCaN

# Japan

団体種別（学内サークル・学生団体・生協・NPO・その他）

NGO・任意団体

団体所在地（住所・電話・ファックス・メール・ホームページ）

e-mail: [info@youthcan-japan.org](mailto:info@youthcan-japan.org)

web site: <http://youth-can.org>

メンバー人数

5人

メンバー所属大学・学部

早稲田大(理工,法)、東京農工大(農)、一橋大(法,経済)、東大(理)、青山学院大(経済)、慶應(経済)

設立年

2005(本部は1995)

代表者（氏名・所属大学・学部学年・連絡先（電話・メール等））※可能な範囲で記入

増田 竜

慶應義塾大学経済学部2年

masuda@youthcan-japan.org

今年度の主要な活動

現在は、アフリカ紙芝居プロジェクトという、アフリカの子供たちにイラストレーターの方との協働作成した環境問題などの啓発を目的とした紙芝居を届けること、おとびその紙芝居を利用した日本での出張授業を中心に活動を行っています。

**アフリカ紙芝居プロジェクト：**

これは、アフリカの子供たちが水質汚染やごみ問題、自国の自然環境などの理解を深めてもらえるような紙芝居を作成して、現地に送ろうというものです。具体的には、水、ごみ、アフリカの自然のそれぞれのテーマについて、紙芝居を一から作成し、英訳して、現地の教育施設などにおいていただき、**子供たちの科学教材**のひとつとして、役立つことを目指しています。

プロジェクトの目指すこと：

アフリカの子供たちの間にはいくつかの憂慮すべき問題があります。**第一**に途上国であるアフリカでは基礎的な科学知識の欠如が命取りになる状況がある中、科学教材が不足しています。**第二**に広大な国立公園を有するアフリカに住みながら、都市部の子供たちは自国の自然環境のすばらしさを知らず、中には象をみたことがない子供たちまでいるという現状があります。**第三**に環境問題が深刻化していないアフリカでは、まだ人々の問題意識が低いですが、ごみ問題など段々とその影響が現れ始めています。これらの現状を改善し、次世代を担う子供たちに自国の自然に誇りを持ってもらい、環境問題への理解を深めることで、その深刻化を未然に防いでもらいたい。そのような思いにもとづいて、このプロジェクトは企画されました。では、なぜ紙芝居で伝えようと思ったのか。それは、紙芝居が絵本のように字が読めなくても内容を理解でき、それでいて、絵本と違い読み手と聞き手に分かれた形式で、お互いに理解を深めることができるためです。

1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

概要：

07年度は、アフリカ紙芝居プロジェクトを中心に活動を行っています。詳細は今年度の主な活動参照

イベント参加

6月5,6日<NHK エコスタイルストリート> :

ブース出展し、子連れの親子や、学生などに対し、アフリカ環境紙芝居の朗読とアフリカのごみ問題についての発表を組み合わせたワークショップを行いました。

10月28日<横浜国際フェスタおよび、だがしや楽校> :

同会場内で行われたイベントで、アフリカ環境紙芝居を中心としたワークショップと、アフリカについての理解を深めてもらうためのクイズなどをそれぞれ行いました。

<十文字学園中学校での出張授業> :

9月下旬に予定され、準備を進めていたものですが、直前に先方の事情で中止になってしまったものです。現在も、先方の担当の方と実施方法について見当をしています。

内容として、当初はアフリカウガンダでの経験を通して感じたことを元に、他者とコミュニケーションをするということはどういうことなのかを、アフリカの理解も深めながら参加者と一緒に考えるというものです。

## 2. 今後の活動予定を教えてください。

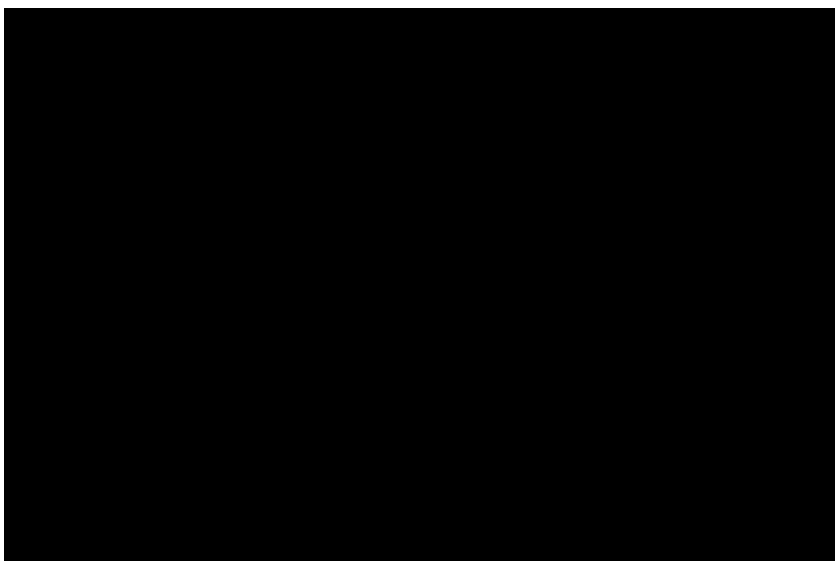
08年もアフリカ紙芝居を中心に活動をしていく予定です。

イベントでの紙芝居の朗読など単発的なものだけでなく、継続的に発表を行っていく場を持つことを試みています。児童館などを中心に協力をお願いしているところです。

また、アフリカへ紙芝居を送るということに関しても、資金集めと現地とのパイプ作りに平行して取り組んでいくつもりです。

## 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

- ・己を見つめること。
- ・日本の世界遺産めぐり
- ・フライングディスク全般



## アイセック

### アイセックとは

アイセックは、世界 100 の国と地域にグローバルネットワークを持ち、海外インターンシップ事業を通して、次世代の国際社会を担う学生が自己の可能性を発見し発展させるプラットフォーム(場)です。アイセックは海外インターンシップを通じて、4500 人以上の学生に海外で生活し働く機会を提供しているだけでなく、約 22,000 人のメンバーに組織を運営して自らリーダーシップを発揮する機会を与えています。

### 世界最大の NPO

現在は世界 100 の国と地域にまたがり、1000 大学以上に委員会を持ち、約 22,000 人の学生が活動を行う世界最大規模の学生組織です。日本国内においても、特定非営利活動法人格を持ち、全国の主要な 24 の大学に委員会で 1000 名以上の学生が活動を行っています。



#### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

「ステークホルダーとの知的創造空間の構築」を方針に掲げ、社会的な課題やトレンドへのアプローチとして、多くの企業・NGO と協働しながら海外インターンシップ事業と、それに付随するスタディツアーやセミナーなどのイベント活動を多く展開しました。本年度は、日本を起点として約 250 件の海外インターンシップが実現する予定です。

また、アイセック・ジャパン設立 45 周年記念式典を開催し、富士ゼロックス最高顧問の小林陽太郎氏をお招きし、「次世代のグローバルリーダー」の題目でご講演を頂きました。

#### 2. 今後の活動予定を教えてください。

アジア太平洋地域における「グローバルアイセック設立 60 周年記念事業」を、来春、アイセック・ジャパンが主導して行います。アジア太平洋地域の学生 200 名が一堂に集いリーダーシップと社会的課題に取り組む国際会議、洞爺湖サミットにアジア各国にエコグッズを届けることを趣旨に福田日本国首相を招いて行われる”Student Summit for Sustainable Asia”の開催などを記念事業の一環として予定しております。

#### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

北は北海道、南は九州まで 1000 名以上の学生が活動している団体ですので、団体内で流行っていると言うと語弊があるかもしれませんが、「妥当な意思決定」、「適切な資源配分」、「内部統制の拡充」、「情報共有による知識創造」など小難しい言葉が盛んに議論で用いられるきらいがあるように思われます。

## エチオピア学生会議

エチオピアは人類発祥の地、コーヒー発祥の地と言われ、神話や聖書、歌劇にも登場する国です。そんな魅力的で興味深いエチオピアは現在、世界から莫大な ODA を受けています。一方的な援助関係ではなく、対等な関係を築けないものか…。そこで当時の駐日エチオピア大使の強い要請と日本人学生の熱い想いにより設立されたのが、「日本エチオピア学生会議」です。学生だからこそできる非宗教・非政治・非営利団体として、政治レベルではなく市民レベルで両国の親睦や理解を深めていきたい！もっと日本人にもエチオピアを知ってほしい！私たちはそんな思いを胸に、両国間で活動しています。エチオピアでは、現地人学生との交流・議論や、JICA などの協賛を得て植林・農業プロジェクト、コーヒー農園、小学校を訪問。日本では、大使館とともにエチオピアやプロジェクトの結果を紹介して日本国内での理解を深め、学生による勉強会も開きました。学園祭にてカフェ出店、国内でのエチオピア・アフリカ関連の各種イベントへの参加・主催と、活動内容は多様です。まだ成立間もない団体だからこそ、学生持ち前の旺盛な好奇心と柔軟性で、様々なことに挑戦し多方面で活躍しようと、日々明るく努めています。国の将来を背負っていく若者同士の触れ合いを通して、やがては両国の発展・繁栄につなげていくべく、これからも切磋琢磨していきます！！



※コーヒー農家と記念撮影



※学園祭でエチオピアコーヒー販売

---

### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

エチオピアと言ったらコーヒーの原産国！そんなコーヒーを紹介するために、一橋大学と東京大学の学園祭でエチオピアコーヒーを販売しました！熱心な勧誘の甲斐あって、合計 1300 杯ものコーヒーを楽しんでもらうことができました！これを機に、もっとエチオピアが広まっていてくれればと思っています。

また、日頃の活動に興味を持った方から取材を受け、紀伊国屋のフリーペーパーに掲載してもらいました！設立 2 年にして全国の人々にエチオピアを発信することができ、とても嬉しく思っています。

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

これまでは日本人学生がエチオピアへ訪問するだけでした。しかし、来年は逆にエチオピア人学生を日本に招いて、日本で交流・議論しようと思っています。お互いの国へ実際に行ってみると、生の文化・伝統・価値観と触れ合うことができます。そうすれば、両国の視点から物事を考えることができるようになり、両国が抱える課題をより広い視野で捉え、共に解決のために考えていくことができるはずです！

**3. 今団体内で流行っていることを教えてください。**

エチオピアの写真を見せ合って、エチオピアの思い出話を語り合っています！当時は辛い経験も、今話してみると良い思い出です。これからも、そんな思い出作りに励んで行きたいと思います！

## NPO 法人カンボジアの教育を支える会



NPO 法人カンボジアの教育を支える会（通称：PACE）は、カンボジアの未来を担う子どもたちの教育を支えていくことを目的として、1999年に設立され、2003年にNPO法人となりました。

現在は、カンボジア・シェムリアップ州にある、生徒数500名程の小学校（ドントロー小学校）を支援しています。PACEのメンバーは学生と社会人の20名程で成り立っており、年に2回春と夏に、希望者を募って現地の小学校へ訪れます。そこでは、主に、教育支援と国際交流事業を行います。教育面では留年・退学の減少を目指しており、設備品の提供（校舎や教科書等）と現地の小学校で普段行われぬ授業を行っています。また、交流では、日本とカンボジアの子どもたちの相互理解や世界観を広げたいという想いのもと、歌や絵の交流を企画し、実施しています。



日本では、チャリティーイベントや他団体との合同写真展、グローバルフェスタ JAPAN への参加など、多くの方々にカンボジアの現状を伝える場を大切にしています。

団体 HP <http://www.face2pace.org/>



### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

支援先のカンボジアの小学校に対し、教育支援事業として教員用・児童用教科書支援、体育や理科の実験授業、国際交流事業としてメッセージ交換プロジェクトを行いました。具体的に教科書支援により、すべての児童が一冊ずつの教科書を持つことができるようになりました。そして、メッセージ交換プロジェクトでは、カンボジアと日本双方で絵・折り紙・言葉などの色々な表現を使う絵の制作を行い、それらを交換致しました。また、日本では、国際協力活動を行う学生団体との合同写真展やグローバルフェスタ JAPAN への参加、フィールドワークの報告会などを行うことで、カンボジアの現状を伝えていきました。

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

2008年1月11、12日にチャリティーイベント、カンボジアンカフェを開きます！もっと多くの人により気軽にカンボジアの文化や魅力に触れてもらいたい、そのような想いからカフェを開くことにな

りました。カフェではカンボジア料理の提供や現地で撮影した映像・写真の上映、カンボジアの教育と文化が分かる手作り **BOOK**、カンボジア雑貨をご用意しています。また、カフェに先駆けて、1月7～10日にカンボジアの写真展を開催します。詳しくは <http://cafepace.wordpress.ne.jp/> をご覧の上、皆様ぜひお越し下さい。

その他、来年度の活動予定です。

3月：フィールドワーク（現地調査）実施、教科書管理の確認

5月：学生団体合同写真展実施

8月：フィールドワーク（現地調査）実施

9月：青山学院大学同窓祭に参加、カンボジア雑貨や手作りパウンドケーキの提供

10月：グローバルフェスタ JAPAN 参加、カンボジア料理の提供

12月：チャリティーイベント実施

### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

ずばり、おみあげ交換です。PACE は毎週土曜日に全体で話し合いを行っています。最近は毎週のように、メンバーが旅行した各地のおみあげが登場しています。その種類は、白い恋人、チンスコー、時には海外のお菓子など様々です。話し合いを行いながら、メンバーからのおみあげを食べるのが、今団体内で流行っていることです！

## 子ども国会

### \*団体目標\*

私たちの団体は、「みんなが“豊か”に生きていける未来の実現」を目指し、子ども国会を開催しています。社会における諸問題を真剣に考え、議論することは、参加する子ども一人ひとりにとって豊かな心を持つきっかけとなり、それはさらに彼らを取り巻く大人、ひいては、社会全体の向上につながると私たちは考えています。



子ども国会では、学校や年齢を越えた様々な人たちと出会い、多くのことに関心を持ち、視野を広げ、社会に声を届けることができます。そのような機会と場をつくっていくことが、私たちの活動です。

### \*団体概要\*

2004年4月に世界中の子どもに教育をキャンペーンの一環で行われたのが第1回子ども国会です。その後、学生団体として独立し、2005年8月には第2回子ども国会が開催され、今年で4回目を迎えました。全国から中高生（子ども議員）を集い、一泊二日で国際・教育・福祉・環境のテーマに分かれて話し合い、宣言書を作成します。そして、宣言書を各党の議員や政府関連施設、教育関係者などにもって行き、意見交換をします（→ロビイング活動）。

### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

第4回子ども国会は、「未来を描く仲間が出会い共に考える場をつくる～自分がないものを発見しよう～」をテーマに掲げ、8月29日、30日に約30名の中高校生が参加して、代々木オリンピック記念青少年センターと衆議院第一議員会館、そして国会議事堂内模擬ホールで開催されました。子ども達は、＜国際＞①考えてみよう 貧困・紛争 みんな地球で起きている、②本当のことを知ろう。メディアを通して、＜教育＞③理想の学校を作ろう！、＜福祉＞④自分が親になったら？、＜環境＞⑤もったいない！を広めよう、という5つの分科会に分かれて、話し合いを行い、それぞれのテーマの現状や理想について子どもの視点から話し合い、改善案を考え、さらに、その理想を実現するために、どのような行動をとるべきかをアクション・プランとして作成し、宣言書にまとめました。宣言書は、8月30日に国会議事堂内模擬ホールで松木謙公衆議院議員（民主党）と米長晴信参議院議員（民主党）が見守る中、採択されました。また、後日自民党および民主党議員との意見交換会も行いました。

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

8月11日、12日の一泊二日で第5回子ども国会を開催し、後日ロビイング活動を行うことを予定しています。参加して下さる子ども議員さんを始め、関わるすべての人々が互いに成長できる場にしたいと思っています。さらに、今年は子ども国会当日だけでなく、子ども議員さんたちが共に学び合える場を提供していきます。

### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

メンバーの誕生日にMLリレーをすることです♪実行委員の仲が深まります☆

## [ユニセフ子どもネット OB/OG 会 (UCNY) ]

ユニセフ子どもネット OB/OG 会とは、ユニセフ子どもネット (※) の OB・OG によって創られた団体です。メンバー構成は主に大学生で、中には海外に留学しているメンバーもいます。

～理念～

国内外を問わず子どもに関する問題を対象とし、すべての「子どもの人権」が保障される世界を目指しています。

～5つの目標～

- ◇子どもの権利・人権の学習・普及
- ◇子ども参加・参画を実践・確立する
- ◇ユニセフの活動範囲を中心に(あるいはさらに拡大して)子どもの問題について考える
- ◇子どもたちにも分かりやすい活動をする
- ◇ユースメンバー自身も楽しみながら協力し合い成長できる場を目指す

～活動内容～

5つの目標達成と多くの人たちに子どもの権利について知ってもらう為にイベント/セミナーの運営・企画を行っています。また、グローバルフェスタなどのイベントや募金活動、セミナーなどを通じて日本ユニセフ協会のお手伝いも行っています。

(※) ユニセフ子どもネットとは、世界の子どもたちのために日本の子どもたちができることをそれぞれのメンバーが考え、実行し、経験を共有するためのネットワークで、高校3年生(18歳)以下の全ての子どもたちがメンバーになることができます。(子どもの権利条約が、18歳未満を「子ども」と定義しているためです。) 具体的には、セミナーやイベントに参加したり、メーリングリストや掲示板を使って様々な問題について話し合ったりしています。(2006年7月現在)

～夏のセミナーの様子～



### 1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

- ・「ユニセフ」についてのセミナーを運営/企画 (8月)
- ・自分たちの活動資金を得る為、フリーマーケットに出店 (9月)
- ・日本ユニセフ協会のブースを通じてグローバルフェスタに参加 (10月)
- ・ユニセフの全国一斉募金活動「ハンド・イン・ハンド」に参加 (12月)

### 2. 今後の活動予定を教えてください。

来年1月に「子どもの権利」について取り組んでいる NGO 「(特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」の中島早苗さん (副代表&事務局長) と子ども権利活動家の森田明彦さんを講師として「子どもの権利」についてのセミナーを実施決定!

### 3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

来年11月にブラジルで行われる「第3回子どもの商業的性的搾取反対世界会議」について UCNY も参加できる方法はないのか? またそれに向けて何か出来ないだろうか? とメンバーの中で話し合われています。

こんにちは！和 s です！読み方は、「わず」ではなく、「わす」です。和 s は、「日本の魅力を世界に紹介したい」という実行委員長久保洋介の想いから、2006年2月、通訳ボランティアガイドサークルの学生を中心に結成されました。

昨年度は、「学生ガイドコンペティション」を開催し、来場者、支援者から高い評価を得ました。

今年度は、京都の5つの大学から集まった有志25名により構成されています。

YDPには今年の6月から参加させていただいています。日常生活では会えないような人たちと出会うことのできる大変有意義な機会だと思っています。

よろしくお祈いします。

団体 HP : <http://wasweb.jp/>



1. 本年度の活動としてどのようなことをされたのか、教えてください。

2007年11月3日、京都にて第一回京都文化博覧会を開催。狂言、雅楽、日本舞踊、茶道など、世界に向けて発信したい日本文化をステージ上で紹介。イベント当日の集客数一万四千人、NHK、ラジオ、新聞、フリーペーパーなど20以上のメディアに露出。京都府や京都市教育委員会などのサポートも得、京都中で注目を浴びた。

2. 今後の活動予定を教えてください。

- ① 年に一度の文化博覧会の企画・運営。
- ② 月に一度の文化サロンの企画・運営。

※文化サロンとは、各伝統芸能の著名人を招き、その伝統芸能を鑑賞するとともにそれについての知識を深める勉強会のこと。

3. 今団体内で流行っていることを教えてください。

筆者の独断と偏見で書かせていただきます。

流行しているもの.....

.....な、ない。というか、みんな自分が王様だから人に影響されたりしないんです

.....干渉しない、されない。よく集まって会議とかできたなーって今になって思います 笑

## ● euphoriaの特徴

euphoriaは医療系学生で構成されている学生団体であり、主に保健に関する活動を行っています。日々の活動からワークキャンプまで自分たちで作り上げることをモットーとし、特にワークキャンプを現地ボランティア・現地医学生、現地住民と一緒に作り上げることは、最大の特徴です。

## ● 今までの活動

2005年2月5日に設立された euphoria は、今年で3年目となりました。主に、毎年夏季休暇を利用し、インドネシアにて2週間のグループワークキャンプを実施しています。2007年春には国内グループワークキャンプも開催しました。それ以外では、医療・保健に関する勉強会などのスキルアップ、wAds2007(World AIDS Day Series)、2008年G8サミットNGOフォーラムに加盟し、国内への還元活動に力を注いでいます。



---

## ● 本年度の活動

本年度もインドネシアにおいてグループワークキャンプを実施しました。ストリートチルドレンプロジェクト、買春宿街プロジェクトの2本柱で1年かけて企画・準備を行い、現地住民を対象に、性感染症・薬物使用・生活習慣にまつわる疾病に関する知識と意識のシェアなどを目指した活動を行いました。更に今年は報告還元活動に力をいれ、2回の報告会や若者への国際協力を目指すきっかけ作り、国内のHIV/AIDS意識喚起なども行いました。

## ● 今後の活動予定

3年間のインドネシアでの活動を通じ、現地での現状把握、対象者との信頼関係構築の点で、私たちの活動に継続性が見出されてきました。異国での活動のサステナビリティを追及し、現地学生と二人三脚で、現地住民の自らの健康を守るためのスキルアップに努める所存です。

現在では保健福祉の視点を重視しつつ様々な視点を持った学生・ユースとの協力を求めています。

## ● 今流行っているもの

今 euphoria ではインドネシアの音楽を聞くのが流行っています。

## YDP Japan Network とは？

YDP Japan Network は、地球的課題(グローバルアジェンダ)に取り組むユース団体の包括的で緩やかなネットワークです。現在、日本各地の 65 団体が加盟しています。

### YDP Japan Network の理念

将来の世代を担うユースが、地球規模の社会的課題(グローバルアジェンダ)について対話・発言・行動することを通じ、豊かで平和な世界を実現する存在(アクター)となること。

### YDP Japan Network の役割

全国のユース団体(およびそれに参加する個人)がその潜在的な可能性を最大限に発現していくため、ユース団体相互のネットワークを構築し、

1. 能力醸成や知識の交換の機会の創出に取り組むこと
2. 協働を促し、またそれを支援すること
3. ユースの意見を社会に発信すること

という三つの目標を達成することが役割であると考えています。



<http://www.ydpjapan.net/index.html>